

国立公園満喫プロジェクト等推進事業

環境省

【平成31年度予算概算要求：15,670百万円の内数（11,700百万円の内数）】（特別会計700百万円を含む）

背景・目的

平成28年3月30日に観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、『「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは8箇所の国立公園で、「国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、2020年までに、外国人国立公園利用者数を年間490万人から1000万人に増やすことを目指す』ことが求められている。平成30年度までに、国立公園の統一的品牌イメージを広く海外に発信するためのプロモーション、ツアーコンテンツの発掘・磨き上げ、利用者数以外の質に関するプロジェクトの評価指標の開発等を実施。

事業概要

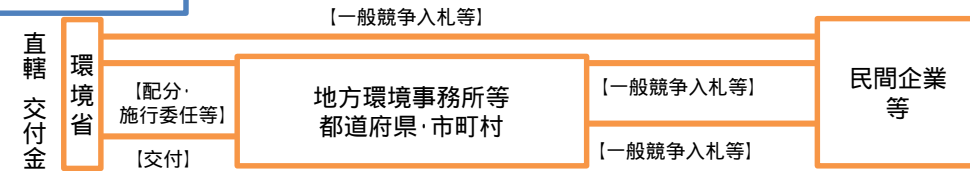
各国立公園へのより具体的な誘客に向けたモデルコース等の設定、ツアーコンテンツの充実、コンテンツと旅行会社・OTA等とのマッチングの機会の継続を行うとともに、海外への情報発信を強化することで、国立公園のブランドイメージの定着化を図る。また、各国立公園における地域協議会の運営及び具体的取組のさらなる推進、中間評価を踏まえた自然公園法の制度見直し検討、2020年の目標達成に向けた8つの公園の成果の水平展開等を進める。あわせて世界水準の「ナショナルパーク」実現のため、登山道、ビジターセンター、キャンプ場、休憩場所等の再整備、公園施設の長寿命化対策、宿舍施設の省CO2改修支援等を実施し、国立公園利用者へ安全で快適な利用環境を提供する。

事業目的・概要等

期待される効果

観光ビジョンに掲げられた外国人国立公園利用者数に関する数値目標（2020年までに1000万人に増やす）の達成を目指す。

事業スキーム



課題

次の訪日でしたいことは「自然・景勝地観光」第2位（訪日外国人消費動向調査より）

情報発信の不足

- 国立公園の魅力に加え、体験型コンテンツの情報発信が不足

受け入れ環境の未整備

- 体験型コンテンツ、外国人向けの自然ガイド等が不足し、滞在時間が短い
- 登山道の荒廃、遊歩道の老朽化等への対応の遅れ

イメージ

訪日外国人「訪日旅行でお金をかけたいこと」「自然体験・アクティビティ」58%
（環境省「国立公園価値把握調査」、2017）

今後の取組

情報発信の強化

- 観光庁、外務省、JNTOと連携
- 海外旅行博等の活用による日本の国立公園の認知定着・誘客促進

地域における誘客力強化

- 地域・事業者と旅行会社・OTA等とのマッチング機会造成
- マーケティング結果を踏まえたコンテンツの充実等、誘客力強化支援
- 自然ガイドの養成



基盤的な利用施設の整備

- 登山道・遊歩道の再整備
- ビジターセンターの充実
- キャンプ場リニューアル
- 休憩場所（カフェ、ベンチ等）の整備

水平展開

- 8公園の成果を全国の国立公園に展開
- 中間評価を踏まえた自然公園制度の見直し検討
- 民間等と連携した即効性のある取組を他の国立公園でも展開



国立公園を軸とした地方創生

観光消費額の増加

- ・国立公園を目的地に訪れる外国人観光客が増加

民間投資の喚起

- ・上質なホテル、カフェ等の進出
- ・ガイド産業の活性化
- ・宿舍施設の省CO2化投資促進

地域協議会 自治体・民間団体等と連携して取組を推進